

2017 ITU ロングディスタンストライアスロン世界選手権

(カナダ・ペンテクトン)

佐世保市 山下 得藏

8月23日早朝 FREE 仲間の Fさんに自宅まで迎えに来てもらい、バイクケースを積み込む。カナダのペンテクトンを目指して福岡空港発 {AM 11:25} 出発→名古屋セントレア→バンクーバー→ペンテクトン到着は {23日 13:00} でした。24時間以上も旅をしたはずなのに、出発したその日に後戻りして時間差実感させられてしまう。空港内に有るレンタカー2台でバイク7台を積み込み、スーパーへ直行、夕食の材料買出し済ませる。街から40キロ離れている宿泊先へ。標高2100Mの山中のオフシーズン中のスキー用ロッジでした。そこに到着したのは夕暮れで気温も昼間は30度だったのに急激に下がって4~6度位だったと思う。私には何もかもが初めての体験となりました。27日の本番に向けて3日間時差ボケ解消や休養、ちょっとカナダの山観光?下準備、ジョギングが出来て何とも楽しい時間を過ごせました。

大会当日はスイムスタート6;47分に合わせて3時起床だったように……。会場の(湖の有る)街まで車で40分です。どこの大会でも同じ感覚になるのですがウエットスーツ着てスタートを待つ間に「いつの間にかもうスタートになった。早いなー」って気分になります。前日の湖面は風もあってさざ波がかなり立ってたけど当日はほとんど穏やかな状態になってホッとしました。水温もピッタリ良い感じで年代、性別、のウエーブスタートのおかげでバトルもほとんど無くコースを見失わないように集中出来てマイペースで泳げたのがありがたかった。

ところが、スイム上がってバイクラックを見るとほとんど後続が居ない感じでこれは「どんぶり」じゃないかとちょっと焦りを……。気を取り直してバイクコースを自分なりのペースで回す。ひたすらフラットな最初の20キロ足を止めるわけにも行かず頑張るけどどんどん抜かれる。ペースを維持するためメーターをチラチラ見ながら走るも徐々に登りのある周会コース(約30キロ)に入っていく。難所と想定してた2箇所に登りも自分なりに消耗しない状態で登り切り2周目に入っていく。やはり日頃の練習不足がここに来て出てきてかなりのペースダウンをメーターが示している。同じ登りも2周目は回せないもどかしさを感じながらなんとかバイクのフィニッシュへ。120キロを5時間超えてるのだからAV24. ?キロとなってしまう。

それでも閉門時間はゆるくて余裕でランに入っていた。ランに入って最初の10キロはゆっくり体を走りに慣れさせてエイド以外では歩かないと自分に言い聞かせる。けど3

キロも行かずに足が攣る気配になって歩きだしてしまった。結局このペースは悪くなるばかりで歩いている時間の方が走る時間より長かったのだろうと思う。救われたのは攣りそうになってしばらく歩くとまた少し走れる状態になって決定的に動かなく成るほど足が攣ってしまわなかったことです。

周回遅れで歩いている自分を声かけて応援してくれた **FREE** の仲間達、**JTU** ツアーで参加の名前も知らない日本選手達に感謝します。

昨年6月の太良の森トレランでカズラに足を掛けて岩場でコケてしまい手を付いた肩の腱を損傷してスイムもランも長期に渡って練習出来なかった。その事でメンタル的にも体力的にもダメージを受けてしまったと感じています。でもいつもの **FREE** 練習仲間引っ張ってもらい、おかげで諦めかけてたこの大会で完走出来たのは私には宝です。

支援頂いた、佐世保市、同トラ協会、県協会の皆さん、留守部隊の **FREE** の仲間達に感謝致します。皆さんありがとうございました。

